

3rd ePRO SHOW CASE

～ ePROモニタリングの課題と未来 ～

当イベントでは、最新のエビデンスや実践経験を共有しながら、AI技術との融合や実臨床への展開について議論します。新たな研究開発や連携の創出、さらには患者さん中心の医療の発展につながることを目指しています。ぜひご参加ください。

主 催 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
先端生命医科学研究所 ヘルスアウトカムリサーチ支援事業
PRO-QOLコンソーシアム運営委員会

後 援 日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）PRO/QoL研究委員会
日本がん支持療法研究グループ（J-SUPPORT）
阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン
日本臨床試験学会（JSCTR）
一般社団法人 日本がんサポートィブケア学会（JASCC）

日 時 2027年1月23日(土) 13:00～17:00

場 所 パシフィコ横浜ノース
神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

開催方法 会場参加のみ（オンライン配信はございません。）

参加企業 ePROを開発・提供するベンダー5社 （五十音順）

3Hメディソリューション株式会社
CRSキューブAPAC株式会社
株式会社Zenbe
株式会社アクセライト
メディデータ・ソリューションズ株式会社

参加者 がん関連のHR-QOL研究に興味を持つ医療従事者、
臨床開発・市販後臨床研究に関連する方など約50名

参加費 3,000円/名(税込)

申し込み [こちらのフォーム](#)よりお申し込みをお願いします。

プログラム 裏面をご確認ください。



ーお問い合わせー

ePRO SHOW CASE運営事務局 pro-qol@csp.or.jp 03-5287-2636

プログラム

AI x EPRO
AI x EPRO
AI x EPRO

13:00

開会の辞

清田 尚臣 / 神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター

13:00

講演

清田 尚臣 / 神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター

「ePRO症状モニタリング：PRO-MOTE試験で得られた結果と課題」

13:15

講演

AIチャットボット×ePRO

長谷井 嬢 / 岡山大学 学術研究院医歯薬学域 医療情報化診療支援技術開発講座

「対話型生成AIを用いたデジタルヘルスの開発と社会実装」

13:30

パネルディスカッション①

司会：

山口 拓洋 / 東北大学大学院医学系研究科 医学統計学分野

パネリスト：

清田 尚臣 / 神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター

木川 雄一郎 / 関西医科大学総合医療センター 乳腺外科

長谷井 嬢 / 岡山大学 学術研究院医歯薬学域 医療情報化診療支援技術開発講座

田村 和夫 / 特定非営利活動法人 臨床血液・腫瘍研究会

13:40

研究者による事例紹介

木川 雄一郎 / 関西医科大学総合医療センター 乳腺外科

「アカデミア主導臨床研究におけるePRO導入の実際と課題：REDcap運用の経験から」

13:55

ePROベンダー5社による事例紹介

14:45

パネルディスカッション②

登壇者：パネルディスカッション①と同じ

14:55

企業セッション

ePROベンダーのセッションルームにて、AI活用事例の紹介やライブデモなどを行います。参加者は各社のセッションルームを自由に見学いただけます。

16:00

情報交換会（立食懇親会）

17:00

閉会の辞

田村 和夫 / 特定非営利活動法人 臨床血液・腫瘍研究会